

平成26年度（自平成26年4月1日 至平成27年3月31日）  
事業計画及び同年度予算の概要について

平成26年3月18日

学校法人 東京工芸大学  
理事長 岩居文雄

## [I] 平成26年度事業計画について

現在、学生は能力、意欲、興味関心等ますます多様化するとともに、その社会的適応力が弱まる傾向にあります。

また、教育分野における規制緩和で、組織変更等がかつてより容易に行われ、競合する学部・学科等が設置されてきているところから、本学が他大学にはない特色を持つことが求められています。

新中期計画では、こうした課題に真剣に取り組み、解決していくこと、また、変化している学生に適切に対応し、学生の成長を図ることで、他大学との比較において本学が優位に立つことを目指しています。

しかし、その要である学生募集においては、平成26年度は、特に工学部で前年に比べて入学者数を確保することが非常に難しい状況となっています。

この厳しい現実を認識したうえで、予算の前提となる事業計画においては、既存事業の見直しと精選による合理化をより一層推進し、積極的な新規施策を盛り込むことで重点施策を強化して、全学教職員が一丸となって新中期計画で示されている目標の達成を図ります。

### I. 教育事業

#### 1. 教育の質的維持・向上の取り組み

##### (1) 教育内容の改善

教育目標を具現化するための手段であるカリキュラムを、より良いものへと発展させていくため、「カリキュラムPDCAサイクル (Plan・Do・Check・Action)」を、教務委員会で組織的に行い、現行のカリキュラムを継続的に見直し、改善していきます。

工学部にあつては、初年次教育の強化として、英語、数学、物理、化学の科目に対して、学部全体による習熟度別クラス編成を行い、教育の向上を図ります。また、授業時間割を4時制限にしたことにより、それ以降の時間を補講及び補習の授業、課外講座を実施し、学生の学習を支援します。

芸術学部にあつては、メディアコンテンツに関わる産業界で活躍し広く社会に評価される人材の輩出を実現するため、既存の教育システム改革を継続します。また、教職課程設置に向けて、カリキュラムの構築を行います。

##### (2) メディア芸術の発信拠点としての整備

中野キャンパス整備の完了により、学生や教員の研究・制作成果を社会に発表する場として、中野キャンパス内に展示等のスペースが整備されました。これらのスペースを活用しての積極的な情報発信の施策については、平成25年度末から検討を開始しており、実行に向けた取り組みを、引き続き、推進します。

#### 2. 学生生活

(1) 学生間の友達作りの場として、引き続き、新入生オリエンテーションを活用していきます。運動部、文化部、サークル所属率の向上を図るために学友会と連携し、新入生の加入率増加を図ります。

(2) 東日本大震災で被災した学生に対する被災状況に応じた学費減免措置の実施及び奨学金の出願資格と選考基準の改正により学生に対する学業の奨励を行います。また、工学部においては、入学試験での成績優秀者に対する奨学金の拡充を引き続き実施します。

#### 3. キャリア教育・就職支援

就職希望者の就職を100%可能とすべく、4年間一貫してキャリア教育、就職支援を展開します。

また、教員が学生との面談等を定期的に行ない、そこで得た学生の希望業種・職種等をキャリア開発課と共有し、きめ細かな就職指導を行います。

- (1) 平成26年度においては、引き続き、正課授業の中に「キャリア教育」を実施するとともに、正課授業のほかに「就職ガイダンス」や「実践講座」を計画的に行い、就職活動を支援します。
- (2) 企業の人事担当者と学生が直接接触する「企業説明会」や企業の人事担当者と教員が意見交換する「就職情報交換会」を引き続き開催し、学生の企業研究の支援及び学生への採用情報の提供を積極的に行います。

#### 4. 教育環境の整備

中野キャンパス整備の完了により、1号館、2号館及び3号館に学部共用施設が設置されました。これらの施設の運営方法を再考して、学生や教員の利便性を考慮した体制を整備します。

また、中野キャンパスの整備完了に伴い、厚木キャンパス再整備の検討をスタートしてまいります。

## II. 研究事業

本学が持つ研究成果の蓄積、発信を強化することを通じて、外部資金の獲得等に取り組みます。

### 1. 外部競争的研究資金の獲得

文部科学省科学研究費補助金をはじめとする公的研究費への応募、採択件数の増加につながる支援を強化します。

### 2. 共同研究・受託研究の推進

本学の特色ある研究、社会的に独創性かつ先進性ある研究等を通じて、企業、官公庁等の受託研究、共同研究を推進します。また、昨年度共同利用・共同研究拠点として認定された「風工学研究拠点」の活動を推進してまいります。

### 3. 知的財産の管理・運用

(1) 本学が保有する知的財産を広く社会に公開していくために、イノベーション JAPAN（独立行政法人科学技術振興機構、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構主催）への出展を通じて本学の特色ある研究活動を紹介していきます。また、地域の企業を中心に、本学と企業との関係強化を図ります。

(2) メディア芸術の発信拠点として、写大ギャラリーコレクションをはじめとする特色のある研究成果や学内で制作されたコンテンツ等、本学が所有する知的財産を広く社会に発信します。

## III. その他の事業

### 1. 入試広報

志願者数及び入学者数の増加を目指し、積極的な入試広報活動を展開します。

- (1) 夏季に実施の「オープンキャンパス」に加え、新たに春季の「オープンキャンパス」、「スプリングスクール」などを展開する他、「入試相談会」「進学相談会」など受験生に対する直接的広報を充実させます。また、教員と職員が一体となって、「高校訪問」や「大

学入試説明会」など高校教員に向けた広報活動も積極的に実施します。

(2) 学部・学科の特長を訴求する「パンフレット」を作成するほか、受験雑誌やネット媒体等各種媒体の有効活用を図り、広範に本学の特長を告知します。

(3) インターネットの環境があれば、入学試験要項（願書）を取り寄せなくても、その場ですぐに出願できるシステム「Web出願システム」を導入し、志願者数の増加を図ります。

## 2. 認証評価

公益財団法人大学基準協会による認証評価を受審(平成26年9月又は10月に実地調査等予定)するための必要な準備を行います。

## 3. 地域貢献

子供たちに科学と芸術の楽しさを学んでもらうイベントとして地域に定着している「わくわく KOUGEI ランド」については、今年度も開催いたします。

また、自立型ロボットが自分の力だけで迷路を探索し、ゴールまでに達する最短時間を競う、第35回全日本マイクロマウス大会「マイクロマウス2014」を厚木キャンパスで11月に開催します。

## 4. 創立90周年記念式典

創立90周年を迎え、また、中野キャンパス再整備完了を記念して、中野キャンパス及び中野サンブラザで記念式典等を開催します。

## 【Ⅱ】平成26年度予算の概要について

新中期計画及び予算編成方針に基づき、平成26年度事業計画を執行するために編成した平成26年度（平成26年4月1日から平成27年3月31日まで）予算の概要は、以下のとおりです。

### 1. 資金収支予算

資金収支予算は、当該年度の事業計画を執行するために必要なすべての収支の内容及び支払資金の収支の顛末を明らかにしています。

#### (1) 資金収支予算の概観

- ① 当期収入計8,215百万円に対して当期支出計7,751百万円で、資金収支差額が464百万円の黒字となる予算を編成しています。
- ② 当期収入計8,215百万円は、平成25年度補正予算比（以下、「前年度比」）▲2,630百万円減少する予算となっています。  
中野キャンパス整備事業の支出に対応して取り崩す学園整備引当特定資産からの繰入収入が同▲1,804百万円減少、創立90周年記念事業募金の終了により90周年記念事業引当特定預金からの繰入収入が同▲253百万円減少、教育研究装置施設整備費補助金等の申請未定分を見込まないため国庫補助金収入が同▲203百万円減少、在籍学生数の減少を想定して学生生徒等納付金収入が同▲148百万円減少します。
- ③ 当期支出計は7,751百万円で、前年度比▲2,286百万円減少する予算とします。  
中野キャンパス整備事業のⅢ期工事竣工に伴い施設関係支出が同▲1,470百万円、設備関係支出が同▲449百万円減少、教職員人員構成の変化により人件費支出が同▲200百万円減少、平成25年度特殊要因（厚木キャンパスPC演出室システム更新に伴う図書資料費支出（ソフトウェア）96百万円など）の消滅及び経費節減の推進等により教育研究経費支出が同▲103百万円減少、運用債券の満期償還に伴う代替債券の取得減少等により資産運用支出が同▲178百万円減少します。  
一方、広告費支出、消耗品費支出等の増加により管理経費支出は同+85百万円増加します。
- ④ 次年度繰越支払資金の残高は、資金収支状況の改善を受けて前年度比+464百万円増加し、8,798百万円となります。

#### (2) 当期収入予算の主な増減

- ① 学生生徒等納付金収入は6,515百万円で、前年度比▲148百万円減少する予算とします。在籍学生数の減少を想定しています。
- ② 寄付金収入は20百万円で、前年度比▲18百万円減少する予算です。  
創立90周年記念事業募金が前年度で終了したため、減少を想定しています。
- ③ 補助金収入は561百万円で、前年度比▲203百万円減少する予算です。  
前年度に採択があった教育研究装置施設整備費補助金は、実施事業ごとに採択されるものです。当年度は申請事業等が未定のため収入に見込んでいません。
- ④ 雑収入は91百万円で、前年度比▲106百万円減少する予算です。  
退職者数の減少に伴い私立大学退職金財団交付金収入が同▲105百万円減少します。
- ⑤ 前受金収入は1,137百万円で、前年度比+44百万円増加する予算です。

次年度の学部入学者数が増加することを想定しています。

- ⑥ その他の収入は 820 百万円で、前年度比▲2,121 百万円減少する予算です。  
中野キャンパス整備事業のⅢ期工事竣工に伴い学園整備引当特定資産からの繰入収入が同▲1,804 百万円、平成 25 年度をもって創立 90 周年記念事業募金が終了したことにより 90 周年記念事業引当特定預金からの繰入収入が同▲253 百万円減少などです。

### (3) 当期支出予算の主な増減

- ① 人件費支出は 3,297 百万円で、前年度比▲200 百万円減少する予算です。退職者数の減少により退職金支出が同▲138 百万円減少します。また、教職員の人員構成の変化による支出減少を見込んでいます。
- ② 教育研究経費支出は 1,486 百万円で、前年度比▲103 百万円減少する予算です。  
平成 25 年度特殊要因(厚木キャンパス PC 演出室システム更新に伴う図書資料費支出(ソフトウェア)96 百万円など)の消滅及び経費節減の推進等による支出減少を見込んでいます。
- ③ 管理経費支出は 517 百万円で、前年度比+85 百万円増加する予算です。  
広告費支出が同+36 百万円、消耗品費支出が同+68 百万円などとなっています。
- ④ 施設関係支出予算は 438 百万円で、前年度比▲1,470 百万円減少する予算です。  
中野キャンパス整備事業Ⅲ期工事の竣工に伴い支出が減少します。
- ⑤ 設備関係支出は 136 百万円で、前年度比▲449 百万円減少する予算です。  
中野キャンパス整備事業Ⅲ期工事の竣工に伴い支出が減少します。
- ⑥ 資産運用支出は 1,808 百万円で、前年度比▲178 百万円減少する予算です。  
運用債券の満期償還に伴う代替債券の取得減少により有価証券購入支出が同▲99 百万円、えんのき奨学金引当特定資産への繰入支出が同▲60 百万円減少などとなっています。
- ⑦ その他の支出は 486 百万円で、前年度並みの予算です。

## 2. 消費収支予算

消費収支予算は、当該年度における収入予算と支出予算との均衡状態及びその内容を明らかにして、学校法人の財政状態が健全であるかどうかを示すものです。

### (1) 消費収支予算の概観

- ① 消費収支予算は帰属収入 7,286 百万円に対して消費支出 6,815 百万円で、帰属収支差額 471 百万円の黒字となる予算を編成しています。
- ② 帰属収入は平成 25 年度補正予算比(以下、「前年度比」)▲499 百万円の減少、消費支出は同▲253 百万円の減少となる見込みです。  
帰属収入の減少は、資金収支予算で述べたとおり、主に学生生徒等納付金及び補助金の減少を想定していることによります。  
消費支出が減少する主な理由は、資金収支予算で説明した内容に加えて、減価償却額が同▲41 百万円減少、資産処分差額が同+22 百万円増加などです。
- ③ 本学の目標経営指標である帰属消費支出比率は、93.5%となる見通しです。
- ④ 当年度消費収入超過額は、471 百万円となる見込みです。

## (2) 帰属収入の概要

帰属収入は、資金収支予算書の資産売却収入を除く学生生徒等納付金収入から雑収入までの予算額に、現物寄付受入の評価額及び資産売却差額（有価証券売却差益や固定資産売却差益等）を加算して計算します。なお、資金収支予算で説明済みの事項については、割愛いたします。

## (3) 消費収入の概要

- ① 消費収入の額は、帰属収入から基本金組入額を控除して計算されます。
- ② 基本金は、教育研究に必要な資産を継続的に保持するために維持すべきものとされ、第1～4号基本金が指定されています。  
簡略化が許されるならば、第1号基本金は教育の用に供される固定資産の額、第2号基本金は将来取得する固定資産の額、第3号基本金は基金として継続保有かつ運用する額、第4号基本金は恒常的に保持すべき資金の額とされています。
- ③ 基本金は組入額なし、取崩額1,038百万円となる見通しです。  
当年度の取崩額は、固定資産増加額576百万円から除却資産の取得価額1,614百万円を差し引いた額を計上しています。  
なお、基本金取崩額は組入額とは異なり、消費収入の部ではなく前年度繰越消費支出超過額の次段に計上することになっています。
- ④ これらの結果、消費収入の額は7,286百万円で前年度比+125百万円増加する見込みとなっています。

## (4) 消費支出の概要

- ① 消費支出の額は、資金収支予算書の人件費支出から管理経費支出までに、減価償却額、資産処分差額（固定資産売却損・廃棄損、有価証券売却損等）、徴収不能引当金繰入額（貸倒損、貸倒引当金繰入額等）等を加算して計算します。なお、資金収支予算で説明済みの事項については、割愛いたします。
- ② 減価償却額は、教育研究経費に計上する額が1,428百万円、管理経費に計上する額が49百万円、合計1,478百万円を予想しています。
- ③ 当年度の資産処分差額は、厚木キャンパス大倉庫及び周辺施設の取壊しにより建物除却差額22百万円、老朽化した機器備品の廃棄により機器備品除却差額4百万円、図書館蔵書の除籍により図書除却差額11百万円を計上しています。

## (5) 消費収支差額及び翌年度繰越消費支出超過額の概要

- ① 消費収支差額は、消費収入から消費支出を控除した額です。当年度は、消費収入超過額471百万円となる見通しです。
- ② 翌年度繰越消費支出超過額（又は翌年度繰越消費収入超過額）は、企業会計の繰越損失（又は繰越利益剰余金）に近い概念です。  
当年度末における翌年度繰越消費支出超過額は、消費収入超過額及び基本金取崩額の分だけ改善し、2,270百万円に減少する見込みです。

## (6) 目標経営指標の動向

- ① 帰属消費支出比率は、前述のとおり93.5%であり、目標としている90.0%に対して3.5ポイント超過する予算となりました。前年度の90.8%から2.7ポイントの上昇を見込んでいます。

- ② 帰属収入に対する翌年度繰越消費支出超過額の比率は、31.2%となります。前年度の48.6%に比べて17.4ポイントの改善となる見通しです。

### 3. 健全な財政の維持に向けて

健全な財政を維持することは、学校法人の永続性を担保する重要な要素です。

本学の事業を遂行していくために必要な資金のみならず、将来実施していく戦略的事業のために必要となる資金についても、着実に内部留保として蓄積していかなければなりません。

このため、本学は予算管理を強化し、適正な収支差額を確保していく努力を続けます。

同時に、本学が保有する支払資金について、安全性に十分な配慮を払いつつ、可能な限り多くの果実が得られるよう、緻密な資金運用体制を堅持していきます。

※ 本文中、金額の表記は、百万円未満を切り捨てた額としています。

以 上



平成26年度

〔自 平成26年 4月 1日〕  
〔至 平成27年 3月31日〕

資金収支予算書  
消費収支予算書

学校法人 東京工芸大学

理事長 岩居文雄

平成26年度 資金収支予算書

(単位：千円)

科 目	当年度予算額	前年度予算額	差 異
学生生徒等納付金収入	6,515,480	6,664,415	△ 148,935
授 業 料 収 入	4,202,000	4,294,950	△ 92,950
入 学 金 収 入	258,900	277,300	△ 18,400
実 験 実 習 料 収 入	754,455	771,065	△ 16,610
施 設 設 備 資 金 収 入	1,300,125	1,321,100	△ 20,975
手 数 料 収 入	69,352	70,121	△ 769
入 学 検 定 料 収 入	62,840	63,629	△ 789
証 明 手 数 料 収 入	1,401	1,381	20
大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験 実 施 手 数 料 収 入	5,111	5,111	0
寄 付 金 収 入	20,575	39,276	△ 18,701
特 別 寄 付 金 収 入	20,575	39,276	△ 18,701
補 助 金 収 入	561,002	764,501	△ 203,499
国 庫 補 助 金 収 入	560,661	764,160	△ 203,499
経 常 費 補 助 金 収 入	528,661	528,661	0
教 育 研 究 設 備 補 助 金 収 入	0	58,846	△ 58,846
教 育 研 究 装 置 補 助 金 収 入	0	130,733	△ 130,733
研 究 拠 点 形 成 費 等 補 助 金 収 入	32,000	45,920	△ 13,920
地 方 公 共 団 体 補 助 金 収 入	341	341	0
資 産 運 用 収 入	11,088	19,001	△ 7,913
受 取 利 息 ・ 配 当 金 収 入	10,508	18,321	△ 7,813
施 設 設 備 利 用 料 収 入	580	680	△ 100
資 産 売 却 収 入	200,000	300,000	△ 100,000
有 価 証 券 売 却 収 入	200,000	300,000	△ 100,000
事 業 収 入	17,000	30,213	△ 13,213
受 託 事 業 収 入	17,000	30,000	△ 13,000
公 開 講 座 収 入	0	213	△ 213
雑 収 入	91,471	197,636	△ 106,165
私 立 大 学 退 職 金 財 団 交 付 金 収 入	76,253	181,968	△ 105,715
研 究 関 連 収 入	10,490	9,550	940
雑 収 入	4,728	6,118	△ 1,390

(単位：千円)

科 目	当年度予算額	前年度予算額	差 異
前 受 金 収 入	1,137,520	1,093,355	44,165
授 業 料 前 受 金 収 入	584,460	556,895	27,565
入 学 金 前 受 金 収 入	263,400	258,600	4,800
実 験 実 習 料 前 受 金 収 入	106,360	101,935	4,425
施 設 設 備 資 金 前 受 金 収 入	183,300	175,925	7,375
そ の 他 の 収 入	820,938	2,942,404	△ 2,121,466
退 職 給 与 引 当 特 定 資 産 からの 繰 入 収 入	200,000	199,300	700
学 園 整 備 引 当 特 定 資 産 からの 繰 入 収 入	370,440	2,175,022	△ 1,804,582
えん の き 奨 学 金 引 当 特 定 資 産 からの 繰 入 収 入	3,600	63,600	△ 60,000
研 究 資 金 引 当 特 定 預 金 からの 繰 入 収 入	11,300	15,424	△ 4,124
90周 年 記 念 事 業 引 当 特 定 預 金 からの 繰 入 収 入	2,050	255,112	△ 253,062
前 期 末 未 収 入 金 収 入	135,282	135,282	0
貸 付 金 回 収 収 入	2,339	2,728	△ 389
預 り 金 受 入 収 入	95,709	95,718	△ 9
仮 払 金 回 収 収 入	218	218	0
資 金 収 入 調 整 勘 定	△ 1,228,637	△ 1,274,393	45,756
期 末 未 収 入 金	△ 135,282	△ 135,282	0
前 期 末 前 受 金	△ 1,093,355	△ 1,139,111	45,756
前 年 度 繰 越 支 払 資 金	8,333,627	7,525,119	808,508
収 入 の 部 合 計	16,549,416	18,371,648	△ 1,822,232

(単位：千円)

科 目	当年度予算額	前年度予算額	差 異
人 件 費 支 出	3,297,223	3,497,709	△ 200,486
教員人件費支出	2,133,483	2,195,688	△ 62,205
職員人件費支出	1,010,709	1,010,614	95
役員報酬支出	51,017	51,017	0
退職金支出	102,014	240,390	△ 138,376
教育研究経費支出	1,486,531	1,589,923	△ 103,392
消耗品費支出	293,292	425,083	△ 131,791
用品費支出	58,195	77,295	△ 19,100
図書資料費支出	99,181	211,326	△ 112,145
実験用材料費支出	24,378	28,087	△ 3,709
消耗品費支出	111,538	108,375	3,163
光熱水費支出	242,925	232,654	10,271
旅費交通費支出	37,651	45,250	△ 7,599
奨学費支出	96,202	86,037	10,165
通信運搬費支出	29,885	38,037	△ 8,152
印刷製本費支出	49,064	50,088	△ 1,024
広告費支出	1,081	1,142	△ 61
修繕費支出	23,722	45,460	△ 21,738
建物修繕費支出	12,146	29,623	△ 17,477
構築物修繕費支出	1,000	1,020	△ 20
機器備品修繕費支出	10,576	14,817	△ 4,241
損害保険料支出	8,074	7,564	510
賃借料支出	129,766	133,438	△ 3,672
学生補助費支出	3,000	3,000	0
衛生清掃費支出	37,396	35,815	1,581
諸会費支出	17,017	15,826	1,191
公租公課支出	262	243	19
会合費支出	7,053	8,019	△ 966
業務委託費支出	406,440	389,758	16,682
支払報酬支出	35,532	36,496	△ 964
学生福利費支出	31,214	32,541	△ 1,327
取毀し費支出	33,480	626	32,854
雑費支出	3,475	2,846	629

(単位：千円)

科 目	当年度予算額	前年度予算額	差 異
管 理 経 費 支 出	517,531	431,663	85,868
消 耗 品 費 支 出	89,178	23,101	66,077
用 品 費 支 出	1,867	3,554	△ 1,687
図 書 資 料 費 支 出	1,673	2,804	△ 1,131
消 耗 品 費 支 出	85,638	16,743	68,895
光 熱 水 費 支 出	9,304	8,697	607
旅 費 交 通 費 支 出	10,503	12,384	△ 1,881
通 信 運 搬 費 支 出	8,323	10,004	△ 1,681
印 刷 製 本 費 支 出	53,637	45,735	7,902
広 告 費 支 出	162,229	125,316	36,913
修 繕 費 支 出	3,500	3,171	329
損 害 保 険 料 支 出	604	632	△ 28
賃 借 料 支 出	7,782	8,325	△ 543
衛 生 清 掃 費 支 出	2,877	2,897	△ 20
諸 会 費 支 出	3,411	3,202	209
支 払 報 酬 支 出	13,717	12,948	769
公 租 公 課 支 出	1,113	2,625	△ 1,512
会 合 費 支 出	9,643	12,008	△ 2,365
渉 外 費 支 出	6,324	8,936	△ 2,612
福 利 費 支 出	4,468	4,084	384
業 務 委 託 費 支 出	125,149	137,875	△ 12,726
雑 費 支 出	5,669	9,723	△ 4,054
経 常 費 補 助 金 返 還 金 支 出	100	0	100
施 設 関 係 支 出	438,262	1,909,096	△ 1,470,834
土 地 支 出	0	77,439	△ 77,439
建 物 支 出	438,262	72,328	365,934
構 築 物 支 出	0	276	△ 276
建 設 仮 勘 定 支 出	0	1,759,053	△ 1,759,053
設 備 関 係 支 出	136,907	586,824	△ 449,917
教 育 研 究 用 機 器 備 品 支 出	90,882	531,776	△ 440,894
教 育 用 機 器 備 品 支 出	90,882	531,776	△ 440,894
そ の 他 の 機 器 備 品 支 出	3,200	19,030	△ 15,830
図 書 支 出	31,325	32,365	△ 1,040
ソ フ ト ウ ェ ア 支 出	11,500	3,653	7,847

(単位：千円)

科 目	当年度予算額	前年度予算額	差 異
資 産 運 用 支 出	1,808,410	1,986,664	△ 178,254
有価証券購入支出	200,000	299,250	△ 99,250
退職給与引当特定資産 への繰入支出	200,000	199,680	320
学園整備引当特定資産 への繰入支出	1,400,000	1,400,000	0
えんのき奨学金引当 特定資産への繰入支出	2,403	62,675	△ 60,272
教育研究振興引当特定資 産への繰入支出	57	58	△ 1
研究資金引当特定預金へ の繰入支出	5,350	5,350	0
90周年記念事業引当特 定預金への繰入支出	0	19,651	△ 19,651
第3号基本金引当 資 産 支 出	600	0	600
そ の 他 の 支 出	486,539	486,521	18
貸付金支払支出	3,600	3,600	0
えんのき奨学金 支 払 支 出	3,600	3,600	0
前期末未払金支払支出	376,726	376,726	0
預り金支払支出	69,721	69,703	18
前払金支払支出	36,274	36,274	0
仮払金支払支出	218	218	0
【 予 備 費 】	10,000	10,000	0
資金支出調整勘定	△ 430,064	△ 460,379	30,315
期 末 未 払 金	△ 398,730	△ 424,539	25,809
前 期 末 前 払 金	△ 31,334	△ 35,840	4,506
次年度繰越支払資金	8,798,077	8,333,627	464,450
支 出 の 部 合 計	16,549,416	18,371,648	△ 1,822,232

平成26年度 消費収支予算書

(単位：千円)

科 目	当年度予算額	前年度予算額	差 異
学生生徒等納付金	6,515,480	6,664,415	△ 148,935
授 業 料	4,202,000	4,294,950	△ 92,950
入 学 金	258,900	277,300	△ 18,400
実 験 実 習 料	754,455	771,065	△ 16,610
施 設 設 備 資 金	1,300,125	1,321,100	△ 20,975
手 数 料	69,352	70,121	△ 769
入 学 検 定 料	62,840	63,629	△ 789
証 明 手 数 料	1,401	1,381	20
大学入試センター試験 実 施 手 数 料	5,111	5,111	0
寄 付 金	21,575	40,382	△ 18,807
特 別 寄 付 金	20,575	39,276	△ 18,701
現 物 寄 付 金	1,000	1,106	△ 106
補 助 金	561,002	764,501	△ 203,499
国 庫 補 助 金	560,661	764,160	△ 203,499
地方公共団体補助金	341	341	0
資 産 運 用 収 入	11,088	19,001	△ 7,913
受取利息・配当金	10,508	18,321	△ 7,813
施 設 設 備 利 用 料	580	680	△ 100
資 産 売 却 差 額	0	320	△ 320
有 価 証 券 売 却 差 額	0	320	△ 320
事 業 収 入	17,000	30,213	△ 13,213
受 託 事 業 収 入	17,000	30,000	△ 13,000
公 開 講 座 収 入	0	213	△ 213
雑 収 入	91,471	197,636	△ 106,165
私立大学退職金財団 交 付 金	76,253	181,968	△ 105,715
研 究 関 連 収 入	10,490	9,550	940
雑 収 入	4,728	6,118	△ 1,390
帰 属 収 入 合 計	7,286,968	7,786,589	△ 499,621
基本金組入額合計	0	△ 624,722	624,722
消費収入の部合計	7,286,968	7,161,867	125,101

(単位：千円)

科 目	当年度予算額	前年度予算額	差 異
人 件 費	3,282,373	3,498,862	△ 216,489
教 員 人 件 費	2,133,483	2,195,688	△ 62,205
職 員 人 件 費	1,010,709	1,010,614	95
役 員 報 酬	51,017	51,017	0
退 職 金	76,253	181,968	△ 105,715
退職給与引当金繰入額	10,911	59,575	△ 48,664
教 育 研 究 経 費	2,917,681	3,067,183	△ 149,502
消 耗 品 費	293,292	425,083	△ 131,791
光 熱 水 費	242,925	232,654	10,271
旅 費 交 通 費	37,651	45,250	△ 7,599
奨 学 費	96,202	86,037	10,165
減 価 償 却 額	1,428,430	1,474,540	△ 46,110
通 信 運 搬 費	29,885	38,037	△ 8,152
印 刷 製 本 費	49,064	50,088	△ 1,024
広 告 費	1,081	1,142	△ 61
修 繕 費	23,722	45,460	△ 21,738
損 害 保 険 料	8,074	7,564	510
賃 借 料	132,486	136,158	△ 3,672
学 生 補 助 費	3,000	3,000	0
衛 生 清 掃 費	37,396	35,815	1,581
諸 会 費	17,017	15,826	1,191
公 租 公 課	262	243	19
会 合 費	7,053	8,019	△ 966
業 務 委 託 費	406,440	389,758	16,682
支 払 報 酬	35,532	36,496	△ 964
学 生 福 利 費	31,214	32,541	△ 1,327
取 毀 し 費	33,480	626	32,854
雑 費	3,475	2,846	629
管 理 経 費	567,253	477,236	90,017
消 耗 品 費	89,178	23,101	66,077
光 熱 水 費	9,304	8,697	607
旅 費 交 通 費	10,503	12,384	△ 1,881
減 価 償 却 額	49,722	45,573	4,149



(単位：千円)

科 目	当年度予算額	前年度予算額	差 異
通 信 運 搬 費	8,323	10,004	△ 1,681
印 刷 製 本 費	53,637	45,735	7,902
広 告 費	162,229	125,316	36,913
修 繕 費	3,500	3,171	329
損 害 保 険 料	604	632	△ 28
賃 借 料	7,782	8,325	△ 543
衛 生 清 掃 費	2,877	2,897	△ 20
諸 会 費	3,411	3,202	209
支 払 報 酬	13,717	12,948	769
公 租 公 課	1,113	2,625	△ 1,512
会 合 費	9,643	12,008	△ 2,365
渉 外 費	6,324	8,936	△ 2,612
福 利 費	4,468	4,084	384
業 務 委 託 費	125,149	137,875	△ 12,726
雑 費	5,669	9,723	△ 4,054
經常費補助金返還金	100	0	100
資 産 処 分 差 額	38,110	15,878	22,232
建 物 除 却 差 額	22,232	0	22,232
機 器 備 品 除 却 差 額	4,063	4,063	0
図 書 除 却 差 額	11,815	11,815	0
【 予 備 費 】	10,000	10,000	0
消 費 支 出 の 部 合 計	6,815,417	7,069,159	△ 253,742
当年度消費収入超過額	471,551	92,708	
前年度繰越消費支出超過額	3,780,540	3,873,248	
基 本 金 取 崩 額	1,038,607	0	
翌年度繰越消費支出超過額	2,270,382	3,780,540	